

〔委員（議員）氏名： 三林 浩 〕

研修概要、内容、所感

所感

私は議会広報常任委員会に所属しています。町民の皆さんに「手に取ってページをめくってもらうにはどうしたら良いか」今までもその思いはありましたが、何しろ任期が1年でしたので作成するだけで精一杯でした。

それが令和2年度からは委員会のメンバーが2年任期となり、心に余裕もでき、色んな事にチャレンジする機会がありました。それが良かったかは不安でしたが、今回の研修で自信に変わりました。言い訳になりますが、残り少ない時間ではありますが、もうひとつやりたいことがあります。それは「広聴」です。

今の「議会だより」は発信力はあると思いますが、議会からの一方通行と感じています。

「私たち議員は、住民を代表しているので民意を反映しなければいけない」です。

今でも各議員として民意を反映していますが、それは個人でのことで、議会としての発信は「議会だより」に尽きると思います。

だからこそ「広聴」を取り入れて少しでも多くの住民と一緒にやって発信したいと考えます。

それには通年議会が重要なカギです。

そうすれば1年間を通じて議会が一丸となって住民と向き合う時間が増え、住民が「何を考えているのか」議会は「何をしようとしているのか」お互いの言動が理解しやすくなり、「不信感」が少しは軽減できると信じています。

とにかく、考えているだけではなく、行動に移すことが重要と思います。

これからも「変化」を恐れずにチャレンジしていきたいと思いました。

以上

